

第 3 次
江 田 島 市
総 合 計 画

作業計画書

目 次

1 計画の趣旨	1
2 作成期間	1
3 業務内容	2
【令和5年度】	2
【令和6年度】	8
令和5, 6年度共通実施内容	11
4 スケジュール	15

江田島市 企画部 企画振興課

1 計画の趣旨

本市の現(第2次)総合計画は平成27年度から令和6年度までの計画で、江田島市内外の人々に島の恵みを実感してもらうことを最終的な目標とし、市民参画による協働と広域的な視点に立った交流をベースに「協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま」を10年後の目指す姿(スローガン)として掲げてまちづくりに取り組んできた。

その現計画が令和6年度で計画期間終了となる。その検証結果に加え、避けては通れない少子高齢化による人口減少やDX社会の進展など本市を取り巻く社会情勢や多様な主体の意見を幅広く取り入れ、さらには、まちづくりを自分事として取り組めるよう地域住民の意識の醸成を図り、10年後の江田島市のあるべき姿を示した次期(第3次)総合計画を策定する。

2 作成期間

契約締結の翌日から令和7年(2025 年)3月31日(月)まで

3 業務内容

【令和5年度】

(1) 基礎調査・分析業務

- 市の人口・世帯推計をはじめとする基礎的な指標やデータ等の整理及び今後の見通し、本市の特性、強み・弱みの分析を行う。
- 第2次総合計画の進捗状況、課題に基づく分析を行う。
- 基礎調査報告書の作成を行う。

[基礎調査の整理事項]



■類似都市・近隣市との比較分析による都市ポテンシャル調査

- 地域経済総覧等を活用し、中核市及び中国管内主要都市の各種統計データや市町村データを整理し順位付けと類似都市平均との比較により、江田島市の都市のポテンシャルとポジショニングを把握します。

(2) 成果検証の検討・調整業務

- 新計画における成果検証の方法や指標, KPI, 表現等の検討を行い, 提案を行う。
- 成果検証の指標においては, 10 年後の基本構想実現を見据え, 基本構想で位置付けた部門別のゴール目標の実現に必要な条件・状態を想定し, 基本計画・実施計画において, その条件・状態に合致した指標を設定するなど, 基本構想から実施計画まで, 指標を連動させた「目的達成型の思考」で指標設定を行う。

[計画構成と指標との関係性 (案)]

基本構想	基本計画	実施計画
<p>部門別方針のゴール</p> <p>市民が健康で豊かに暮らしている</p>	<p>ゴール達成に必要な状態 (分野別の指標)</p> <p>健康寿命が延伸している状態 [指標] 健康寿命</p> <p>病気の予防・重症化予防ができている状態 [指標] 検診受診率</p> <p>適切な運動・健康づくりを市民が行っている状態 [指標] 市民のスポーツ実施率</p>	<p>状態実現に必要な取組 (取組の指標)</p> <p>介護予防事業</p> <p>健康相談事業</p> <p>生活習慣病予防事業</p> <p>がん検診事業</p> <p>健康運動教室事業</p> <p>社会体育施設整備</p>
<p>ゴール指標</p> <p>○部門別方針の達成状況を管理するゴール指標を部門別に位置付け。</p> <p>○その部門のゴールとして基本構想の10年間での達成を目指す</p> <p>[指標の例]</p> <p>○健康・福祉における満足度 →</p> <p>○産業・観光における満足度 →</p> <p>○安心・安全における満足度 →</p> <p>など</p>	<p>アウトカム指標</p> <p>○部門別方針の達成に向けて, 各分野に必要な条件・状態を設定 (施策等)。その進捗状況が管理できる指標を分野別に位置づけ</p> <p>○基本計画の5年間で進捗管理し, 社会情勢にあわせて5年後に見直し等を検討</p> <p>[指標の例]</p> <p>○特定検診受診率 →</p> <p>○観光客入込客数 →</p> <p>○住宅の耐震化率 →</p> <p>など</p>	<p>取組指標</p> <p>○各分野の状態 (施策) 達成に必要な取組を設定。その取組の実施状況が管理できる指標を位置付け</p> <p>○実施計画の3年間で進捗管理し, 毎年度, 取組の有効性の検証とあわせて柔軟に見直し等を検討</p> <p>[指標の例]</p> <p>○健康づくり講習会年間参加者数</p> <p>○観光イベント実施数</p> <p>○住宅耐震化補助件数</p> <p>など</p>
<p>[指標取得方法]</p> <p>○江田島市で実施する市民満足度調査の結果を活用し, 各部門における指標を取得。</p>	<p>[指標取得方法]</p> <p>○国・県などによる各種統計調査の結果を参照し, 施策に関連する指標を取得</p> <p>○施策所管課が保有する統計情報等から指標を取得</p>	<p>[指標取得方法]</p> <p>○事業・取組所管課が把握している各種事業・取組の実施実績等を照会し, 指標を取得。</p> <p>○事務・事業評価で位置付けられている指標を参照し, 事業・取組に関連する指標を取得</p>

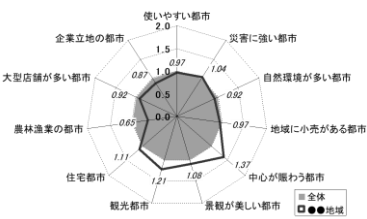
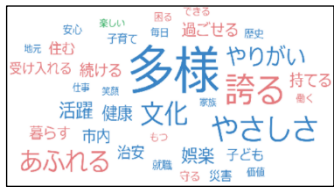
(3) 計画策定業務

- 計画に市民等の意見を取り入れるため必要な指標を得ることができるような質問項目の提案を含めた市民意識の把握を行う。
- 市民・職員等の意識の醸成を図り、まちづくりを自分事として考えられるようなヒアリングや意見交換会などを実施する。

① 市民意識調査の実施

- 江田島市を象徴する誇りや価値についての把握や、今後の生活する上での不安やまちづくりへの参画意向等から、今後 10 年間で求められる施策の方向性や戦略的な取り組みの検討に活かす市民意識調査を実施する。
- 施策に対する満足度と重要度に関しては、例年実施されている市民満足度調査の結果(総合計画・総合戦略の検証結果も含め)を有効に活用する。

[調査概要]

調査対象	16 歳以上の江田島市民のうちから 2,000 人(無作為抽出) ※旧町・年齢別にバランスよく配布できるように検討													
調査方法	郵送配布・郵送回収(WEB 回答併用(紙面に QR コード, 識別番号による照合))													
抑えるべき 設問項目案	回答者属性	性別・年齢・家族構成・居住地・居住年数・職業												
	社会変化に伴う, 生活の変化	◇ 災害に対する意向 ◇ デジタル社会への意向 ◇ 新型コロナによる生活の変化												
	江田島市を象徴する価値・誇り	◇ 江田島市の価値(好きなどころ)や誇り												
	生活に関すること	◇ 生活上の困りごと, 今後の不安												
	まちづくりへの参画意向	◇ まちづくりへの興味・関心 ◇ 興味のある取組・イベント												
	自由記述(理想のまちの姿)	◇ 自由記述 例:10 年後は「○○○○○○なまち」												
分析方法	◇ 地域別・世代別のクロス分析を実施 ◇ 満足度調査結果から対応が求められている事項と上記回答結果と連動させ分析 ◇ 「価値・誇り」「理想の暮らしのイメージ」に関して, キーワードを抽出 ◇ 市外からの意向等は, 既存資料を活用し整理・分析 ◇ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p><地域別分析></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><ターゲット分析></p> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th>地域別 (●地区)</th> <th>子育て 支援</th> <th>小中学の 学校教育</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20 代女性</td> <td>不満</td> <td>普通</td> </tr> <tr> <td>30 代女性</td> <td>満足</td> <td>満足</td> </tr> <tr> <td>40 代女性</td> <td>やや不満</td> <td>やや不満</td> </tr> </tbody> </table> <p>ターゲットを絞り込んだ課題・施策の検討</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><キーワード分析></p>  </div> </div>		地域別 (●地区)	子育て 支援	小中学の 学校教育	20 代女性	不満	普通	30 代女性	満足	満足	40 代女性	やや不満	やや不満
地域別 (●地区)	子育て 支援	小中学の 学校教育												
20 代女性	不満	普通												
30 代女性	満足	満足												
40 代女性	やや不満	やや不満												

② 市内各種団体ヒアリング調査

- 江田島市で暮らす・働く(生活する)ことの誇りや価値を把握すること、市民が主体となり、行動を推進していく(=実践する)計画としていくことを目的に、市内で活躍する活動団体・NPO、企業、実践者などに対して、ヒアリング(インタビュー)を実施する。
- 各分野の持続・発展に向けての課題や必要となる事項を整理し、将来的な予測や市の課題等に反映する。

[調査概要]

対象	総合計画各分野(教育・文化/産業・観光/福祉・保健/生活・環境/安全・安心/基盤(都市・生活、交通)/地域(コミュニティ等)の7分野)の関連事業者等を想定 上記に加え、新規参入企業やまちづくり協議会・自治会、若者コミュニティ、地域活動者、移住定住者なども想定。
方法	事前にアンケートをFAX・メール・郵送等で配布・回収し、ヒアリングを実施。
設問項目案	<ul style="list-style-type: none"> ● これまで行われてきた取組について ● 近年の社会変化を踏まえた分野の潮流の変化 ● 分野における課題や将来における懸念事項 ● 分野の持続・社会変化の対応に向けて推進が必要な取組・まちづくりの展開 ● 市民・行政と連携したまちづくりの意向、協働のまちづくりに係る可能性や意向 ● 江田島市に期待すること、まちづくりの評価 ● 将来のまちのイメージ ● なぜ江田島に来たか、どこに興味をひかれたか(新規参入企業、移住者等)

③ 小学生による“未来の島の姿のイラスト”を募集

- 江田島の小学生を対象に、島の未来の姿を描いたイラスト等を募集し、小学生の皆さんが思う未来の江田島の姿を把握する。募集に際し、各小学校に協力いただき、フォーマットの配布を行う。

④ 中学生・高校生ワークショップの開催

- 江田島の中高生が想う「江田島の未来や大切にしたいこと」を把握するワークショップを実施する。
- ワークショップに際しては、地域で活動する実践者にゲストティーチャーとして参加してもらい、各テーマに対して、話題提供をしてもらいながら、ワークを進める。

⑤ 高校生向けのアンケート

- 若者世代が進学・就業後、江田島市とどのように関わるかを分析するために、江田島市内の高校生を対象にアンケートを実施する。今後のふるさととのかかわり方について考えてもらうきっかけとする。

[調査概要(案)]

調査対象	市内の高校(広島県立大柿高等学校)に通学する高校生 市内に在住し、市外の高校に通学する高校生
配布数	全数
配布方法	郵送、学校を通じて配布・回収
調査項目案	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出身地(市内、市外) 2. 江田島市の誇れるもの、残したいものについて 3. どのような活動に興味がある(やりたい)かについて 4. 江田島市との今後の関わり方 5. 将来どう活躍したいかについて(江田島市内外は問わない)(自由記述) <p style="text-align: right;">等</p>

(4) 基本構想の検討・作成業務

- 各調査や意識把握結果を踏まえ、基本構想案を作成する。
- 基本構想では、将来像について自身(市民・事業者)の声・意見等が計画に反映された過程を「見える化」し、計画を「自分ごと」として関心を持ってもらうほか、イラストや図、写真等を中心として、市民が手にとって、読みやすい、読んでみたくなるようデザインに配慮する。

[基本構想における紙面イメージ]

■ みんなが考えるこれからの江田島市 / 10年後の将来像と考え方

各種市民意向(市民意識調査や事業者ヒアリング、中学生・高校生ワークショップ、職員ワーキング、ビジョン検討ワークショップ等)の検討経緯・プロセス、主な意見を掲載。

意見を集約し、将来像にどのように反映されたかを整理

第3次 江田島市総合計画

2 みんなが考えるこれからの江田島市

『市民』が考えるこれからの江田島市

『事業者』が考えるこれからの江田島市

『学生』が考えるこれからの江田島市

『職員』が考えるこれからの江田島市

『みんな』が考える江田島市

- 自然環境の良さを活かした地域づくりや暮らし方をPRすることが大切
- 郷土業の継承が次世代へ江田島市を継承していくためには重要
- 大と小のつながり、多世代での交流によって、住みやすく、永く住んでいたいまちづくりを推進していく必要がある。

基本構想

3 10年後の将来像と考え方

江田島市のあるべき姿 | 将来像 |
自然の恵みと地域を誇り、豊かな暮らしを実感するしま

江田島市には、豊かな自然と気候があり、我々市民は、この島から多大な恩恵を受けています。こうした自然、気候などから育まれる恩恵は、市民一丸で守り、引き継いでいく「ローカルアイデンティティ」となっています。

今後の10年間においては、この「ローカルアイデンティティ」を市民や江田島市を担う次世代、さらには市外まで広げることで、江田島市で活躍する担い手や、関係人口の創出、まちづくりの活動の和を上げ、江田島市一丸で、「江田島市に暮らしたい、暮らしてよかった」と実感できるまちづくりを推進していきます。

【LOCAL IDENTITY】

MIND IDENTITY [理念]

恵みに出会い、笑みがあふれる島 恵 / 会 / 笑多島

BEHAVIOR IDENTITY [行動指針]

- 1) 私たちは、江田島の自然・恩恵を守り、喜び続けます。
- 2) 私たちは、自然・地域と共生し、笑みある暮らしを創出します。
- 3) 私たちは、江田島の自然・風土・人を誇り、広めていきます。
- 4) 私たちは、次世代に、江田島で暮らす誇りを伝えます。

海と杜織組 (大村町)

各種市民意向結果やコンセプトブック(ローカルアイデンティティ)の内容を踏まえ、将来像を整理。

■ 部門別の方針

基本計画の柱となる「部門」ごとに方針を整理

江田島市の状況・課題や方針の補足や参考となるデータやコラム等を掲載

- [掲載データ例]
- ✓ 統計情報
 - ✓ アンケート調査結果
 - ✓ 事業者の意見
 - ✓ 市民の活動や取組事例 など

第3次 江田島市総合計画

[部門別の方針2] 産業 / 観光

社織の水揚げ(江田島市内)

基本構想

【江田島市の状況・課題】

本市は、瀬戸内の豊かな気候や自然環境に恵まれており、その恩恵を受けて産業・観光を発展してきました。

農林水産業では、社織や蜜柑、オリーブといった特産品があるほか、観光の面においても、サブをはじめとしたマリンスポーツが盛んとなっています。また、こうした環境を魅力に感じ、企業や人材の流入など、地域の活力は現在のところ向上しつつあります。

しかし、若年層の流出や高齢化により、就業機会減少、担い手不足や農地の荒廃など今後の産業の継続が危ぶまれており、産業を継続していくことに課題があります。

【方針】

活力ある産業・観光と魅力的な人材が育まれるまち

江田島市の課題

- オリーブや社織等をはじめとした特産品のブランド化・6次化を推進します。
- 希薄農地や有害鳥獣問題、後継者・担い手不足などの解消を図ります。
- アウトドア・自然体験を核とした体験型観光を展開・推進します。

【ゴール指標】

「産業・観光」における市民満足度

2024年	54.0%	▶	2034年	70.0%
-------	-------	---	-------	-------

【参考データ】

産業別就業人口(人)

観光入込客数(千人)

各種基礎調査結果(現状分析や社会潮流の把握、意向調査等)をもとに各部門の状況・課題を整理

状況・課題を踏まえ、部門において、10年間で達成・解決すべき部門の方針を設定

方針の達成・進捗状況を確認する10年間の目標指標を設定

(5) トップヒアリング

- 計画策定後における課題や取組, 将来展望を見据えた上での, 本計画期間で江田島市が重点的に取組むべき事項等について, 計画書の骨子案をもとに市長の意向を把握し, 総合計画全体の方向性や軸とするテーマを検討する。

[ヒアリング項目の案]

第3次江田島市総合計画の将来・テーマについて	第3次江田島市総合計画で目指すべきまちの姿やテーマとそれに向けての課題の把握
重要課題について	江田島市の重要課題について把握
これまでの取組について	これまで実施してきた取組において, 最も成果を上げた取組と困難であった取組を把握
重点戦略について	市長が考える今後5年間で実施すべき重点事項を把握
ディスカッション参加者(想定)	中・高生などの若者, 子育て世代等 ※ヒアリングやワークショップ等から参加者を募る

(6) 策定本部会議・審議会運営支援業務

- 策定本部会議及び審議会の会議資料作成等の支援を行う。
- 会議運営に関する提案やその他必要な支援を行う。

[策定本部会議及び審議会の議題(案)]

1回	○総合計画の認識共有 ○策定スケジュール
2回	○将来の状況の予測・課題の確認 ○基本構想の構成案(骨子)
3回	○基本構想の素案確認 ○コンセプトブックの構成案確認
4回	○基本構想の原案確認 ○コンセプトブックの内容確認

(7) 打合せ会議

- 業務進行に合わせ, 必要に応じて適宜行う。

【令和6年度】

(1) 計画策定業務

- 計画に市民等の意見を取り入れるための市民意識の把握や職員等の意識の醸成を図るためのヒアリングや意見交換会などを行う。
※ 令和5,6年実施内容参照。

(2) 市民意識醸成業務

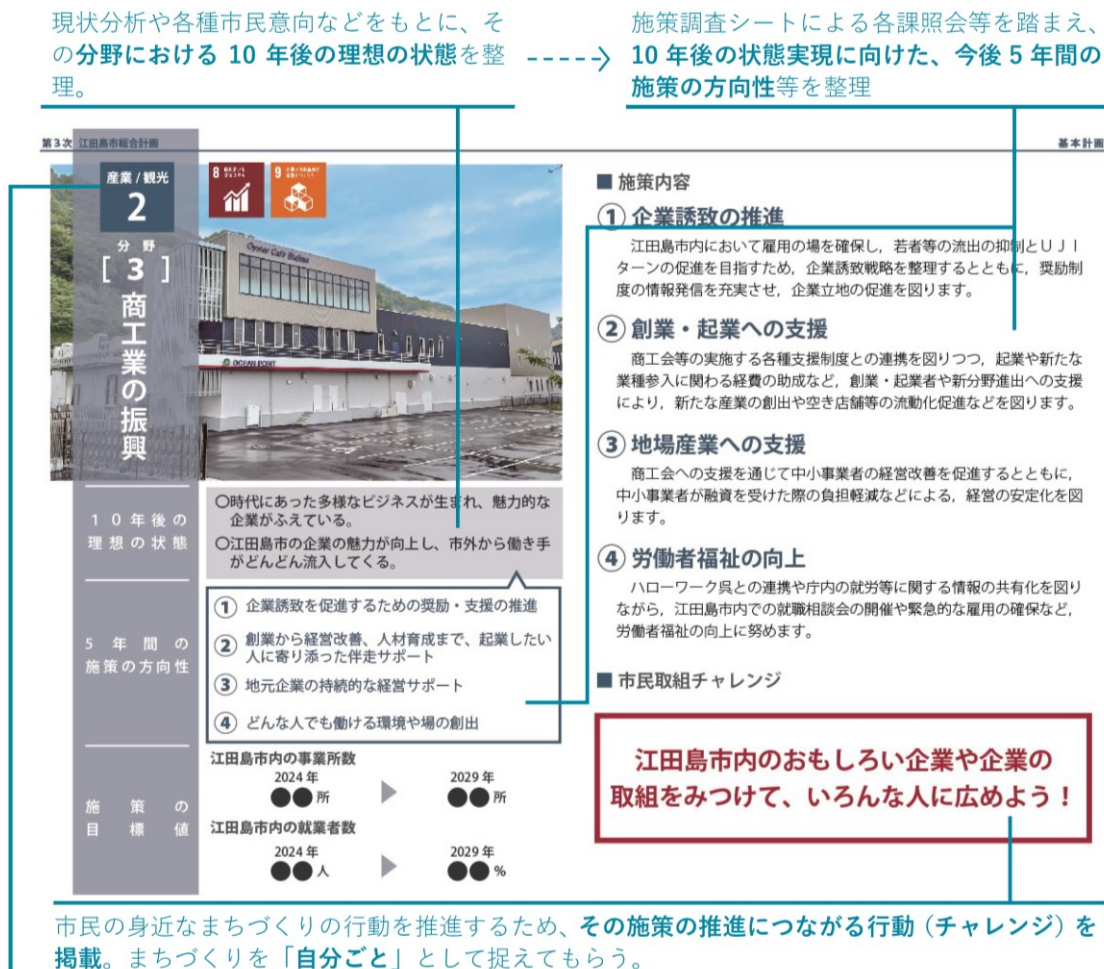
- 本計画を通じて、市民等の身近に感じられるよう意識の醸成を図るツール等の検討・提案を行う。
- 具体的には、ローカルアイデンティティを落とし込んだコンセプトブックを作成するとともに、その作成過程において、理念等を反映したロゴマークやキャッチフレーズを整理する。
- 加えて、訴求力を高めるものとして、それらをビジュアル的に見せ、日常的に使用出来たり、愛着を高めるノベルティとなるツールに関する提案を行う。

(3) 基本計画・実施計画の検討・策定

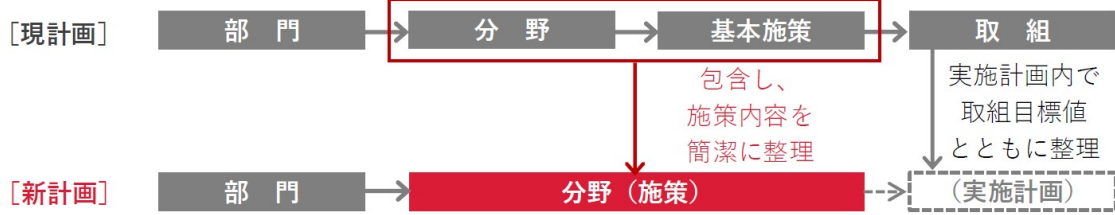
① 基本計画の検討・策定

- 各種調査内容等を踏まえ、基本計画の策定を支援する。施策体系や達成目標の設定等を整理・提案する。
- 基本計画は、今後5年間の推進施策とあわせて、まちづくりを市民が「自分ごと」ととらえ、身近なところから行動をしてもらうための工夫を盛り込むとともに、市民が理解しやすいよう、なるべくシンプルな構成を心掛けるなど、「市民の目線」を意識した基本計画を構築する。

[基本計画における紙面イメージ]



【基本計画の施策体系変更イメージ】



市民に読んでもらい、理解や共感を促す「市民目線」のわかりやすい計画としていくために、現計画の「4階層」の施策体系から「2階層」のシンプルな構成に変更。

② 実施計画の検討

- 実施計画では施策達成につながる詳細事業(取組)等のほか、基本計画の目標・指標を実現するための「取組指標」をあわせて管理する。指標は事務事業評価とあわせて毎年度検証することで、検証結果にあわせて柔軟に事業・指標を見直す実施計画を作成する。

○基本構想で設定した「ゴール指標」を参考表示

○基本計画の施策内容と、設定した指標「アウトカム指標」を表示。(5年で見直し)

基本計画指標を踏まえて設定

○「取組指標」を設定

■基本計画の目標達成に必要な取組指標を適宜見直し

適宜見直し

○事業ごとに以下整理

- ✓事業概要
- ✓実施予定期間
- ✓予算内訳(3年間)
- ✓担当課

■各評価を踏まえて、毎年度事業を見直し

反映

評価を踏まえて見直し

○取組指標の達成状況を確認

○「事後評価(Check)」や「今後の方向性と改善提案(Action)」から事業が適切に進捗しているかを確認

■実施計画イメージ

3 産業部門		10年後における産業分野の最終目標(ゴール指標)	目標値 【令和16年度】			
産業部門における満足度			●%			
分野【1】●●の推進						
【施策の内容】①起業・創業の支援 ②地場産業の活性化 ③働き方改革の推進						
5年間の指標(アウトカム指標)		基準値 【令和5年度】	目標値 【令和11年度】			
●●の割合		●%	●%			
【取組指標】						
指標	基準値 【令和5年度】	目標値 【令和11年度】	最新実績 【令和●年度】	進捗評価 ※		
●●の回数	●回	●回	●回	●回 ○		
●●支援件数	●件	●件	●件	●件 △		
※ ○: 目標値達成済み。○: 中間目標値に向けて順調に進捗している。△: 中間目標値に向けて進捗していない。 ×: 基準値より悪化している。						
【取組内容】 (単位:千円)						
事業名・概要	重点 施策領域	期間 部署	年度	事業費	財源内訳	
●●事業 ○○の○○のため、○○を行う。	○	RO~RO ○○課	7		国・県・他 市 債 一般財源	
			8			
			9			
			通算			
●●事業 ○○の○○のため、○○を行う。	-	RO~ ○○課	7			
			8			
			9			
			通算			
●●事業 ○○の○○のため、○○を行う。	-	RO~ ○○課	7			
			8			
			9			
			通算			

(4) 策定本部会議・審議会の運営支援

- 策定本部会議及び審議会の会議資料作成等の支援を行う。
- 会議運営に関する提案やその他の必要な支援を行う。

【策定本部会議及び審議会の議題(案)】

1回	○基本計画の構成案確認
2回	○基本計画の部門別協議①
3回	○基本計画の部門別協議②
4回	○総合計画全体について
5回	○総合計画最終案の確認

(5) 打合せ会議

- 業務進行に合わせ、必要に応じて適宜行う。

(6) 総合計画(コンセプトブック)お披露目会

- 総合計画及びコンセプトブックがまとまった際にまちづくりに対する機運醸成を目的にお披露目会を実施する。
- 計画等の意義、目指すビジョン・コンセプトの説明に加えて、検討に携わった関係者等に登壇してもらい、ビジョン等に込めた思い等を発表・共有する機会(みんなでつくる場)とする。

[お披露目会の概要(案)]

「お披露目会」 プログラム案	(1)総合計画策定の趣旨 (2)策定の過程について(これまでの意見) (3)目指すべきビジョン, コンセプトについて (4)コンセプトブックについて (5)トークセッション「江田島の未来を考える(仮)」 (パネラー:市長, WSに参加した学生, 参加者, デザイナー, 各団体 等) (6)今後のアクションについて発表(Ws 参加者より)
同時開催内容	◎ コンセプトブックの展示・配布 ◎ ロゴマークの入ったPRツール(試作品)の展示 ◎ 検討経緯のパネル展示 ◎ 江田島市のブランド品, 特産品等の販売と PR など

令和5, 6年度共通実施内容

(1) 職員参画によるグループワーキングの運営支援

- 職員が自分ごととして計画を捉え、職員自らが課題を導き出し、持続可能な江田島市としていくために何をすべきなのかを考え、今後の解決すべきまちづくりの方向性を導き出すことを目的に、実施する。
- 本部会議とも調整しながら、取り組むべき施策を整理する。

[職員ワーキンググループの概要]

参加者	市の若手職員＋係長クラス(次代の幹部)
募集方法	各課より2名(若手, 係長)を課長より推薦
目的	施策評価シートの説明とその研修, 施策調査シートについての議論 重点テーマの特定と, 重点テーマの政策立案 等
開催時間	2時間～3時間程度

[職員ワーキンググループ(案)の概要]

※WG=ワーキンググループの略 PJ=プロジェクトの略

	会議	テーマ, 目的	実施概要	関連スキル
取組のテーマの整理	WG①	・計画の趣旨・概要説明 ・現況分析と課題整理 ・施策評価シートの確認 ・まちづくりの重点事項の導き出し	・総合計画及びコンセプトブックの趣旨・概要説明 ・現況データ等から重要と考えられる問題・課題を抽出 ・施策評価に関する説明と考え方の研修 ・今後解決すべきまちづくりの重点事項の導き出しと絞り込みの実施	・現況を読み解き, 課題を導き出す ・重点課題の整理と絞り込み
	WG②	・施策評価の共有 ・重点プロジェクトの方向性の検討	・前回結果の振り返り ・施策評価の共有, 今後に対する検討 ・重点PJの方向性を整理	・資料作成 ・施策評価の分析
	策定本部	・本部会議にて情報を共有し, 検討	・本部会議にて, 情報共有 ★施策・取組・重点PJの方向性を決定	・資料作成
政策・施策の立案	WG③～④	・施策調査シートの説明, 結果を受けて施策の検討 ・重点PJに関連する政策の立案	・前回までの振り返り ・施策調査シートの記入の仕方の説明・研修 ・回答結果を踏まえて, 職員側で実施すべき事項を整理検討	・事業立案能力
	策定本部	・本部会議にて情報共有し, 整理	・本部会議にて資料を提示 ★重点PJの施策等の決定	・資料作成

(2) 市民参画による意見交換会(江田島未来ビジョンワークショップ)

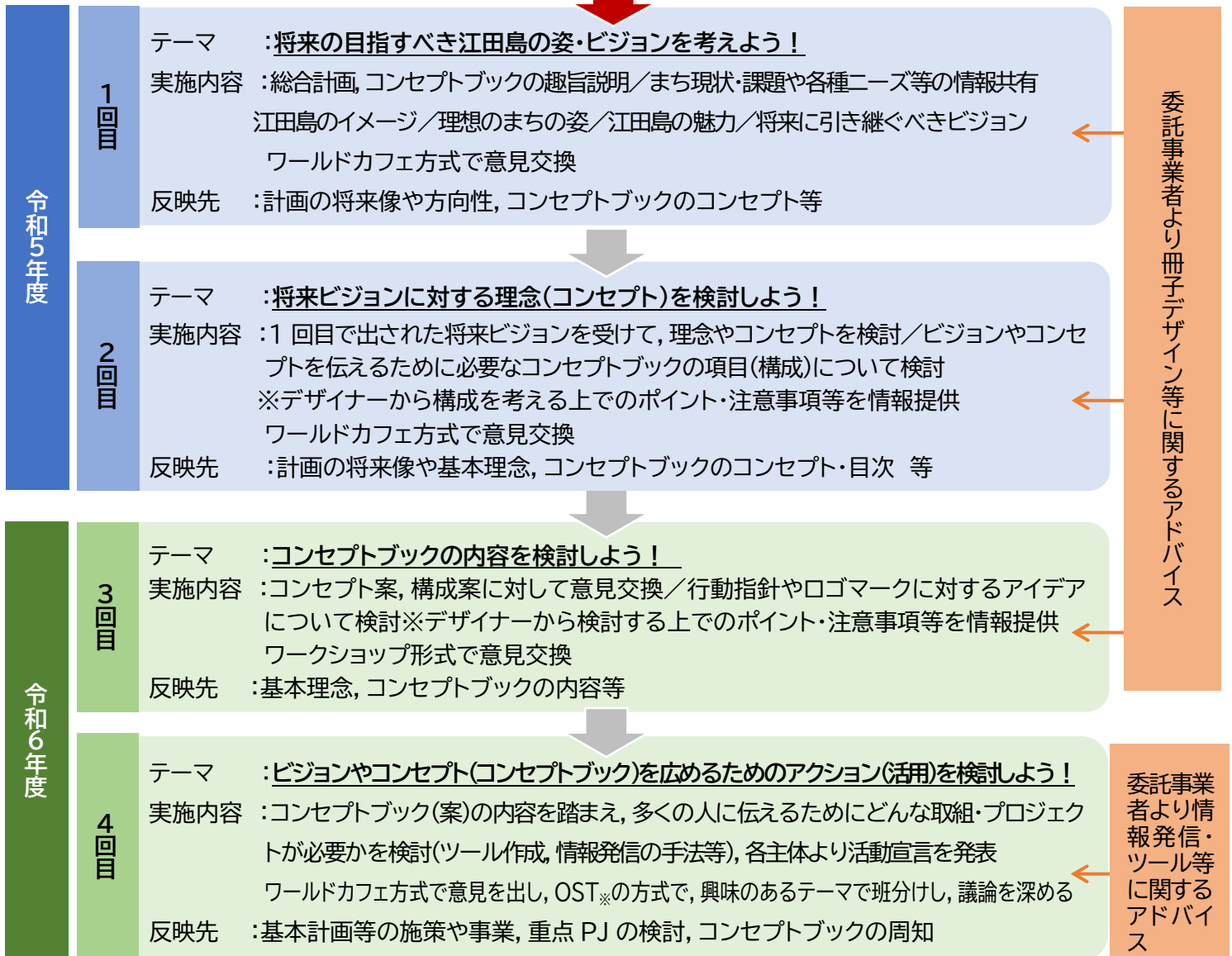
- 市民参画による意見交換会として、「江田島の未来のビジョンとコンセプト」を考えることを目的としたワークショップを開催する。
- 市内の中学生から高齢者まで幅広い層に参加してもらい、世代問わず、幅広い視点から意見を頂ける機会とする。
- 各回でテーマを設けて、総合計画及びコンセプトブックに関するビジョンやコンセプト、それらの実現に向けたアクションについて検討を行う。

[概要の案]

実施方法	1 テーブル4～5名程度を想定し、ワークショップ形式(ワールドカフェ方式等)で実施 2 時間～3 時間程度を想定
参加対象者	市内の中学生, 高校生, 事業者, 地域団体等各世代が幅広く参加を予定
募集方法	市民意識調査に開催の案内を同封/ヒアリングやワークショップ等で開催を伝え, 参加を促す/公式 LINE 等とも連携し, 参加者を募集/協議会や公民館等で依頼 等

[実施内容の案]

共通テーマ：子や孫といった次世代まで引き継いでいきたい“江田島の想い・誇り”を考える



※オープンスペーステクノロジーの略称。参加者自身が検討したいと思うアイデアや解決したい課題などを提案し, それに賛同する人が集まって話し合うことにより, 具体的なプロジェクトを生み出したり, テーマについての理解を深めたりする手法

(3) コンセプトブックの検討

① コンセプトブックのイメージ

- 市民・事業者への愛着・誇りの醸成や、市一丸でのまちづくりを醸成し、市の持続的な活力創出につなげるため、市の誇り・魅力を市一丸で守り継ぎ、市内外へPRするための指針(ローカルアイデンティティ)を定めたコンセプトブックを作成し、お披露目会等で市民へ配布する。本冊子は、市民自身が、市内外に江田島市を紹介・自慢し、PRを行うためのツールとなることを想定して冊子を作成する。

[コンセプトブックの参考事例(弊社アドバイザー(顧問)実績:山都町)]



地域の魅力・誇りや行動指針を整理し、読みやすく、親しみやすい**コンセプトブック**として整理、市民に配布

市一丸で江田島市の魅力や誇りを広め、継承していくための「**行動指針(市民としての心構え)**」を整理



江田島市への想いや行動指針を、より広めていくための「**シンボルマーク**」とその使い方を整理。



多様な媒体にシンボルマークを活用することで、地域の魅力や行動指針の周知、江田島市のPRにつなげる。

YAMATO BEHAVIOR IDENTITY BI

山の都の想い

ヤマのミヤコのオモイ

- 1) 私達は笑顔で挨拶を交わします
- 2) 私達はお年寄りと子どもを大切にします
- 3) 私達は自然を大切にします
- 4) 私達は歴史文化を尊重します
- 5) 私達は私たち自身を尊重します

山都町は、この地域の魅力をもっとたくさんの地域に、人に、正しく知ってもらうために、新しく《LI》ローカル・アイデンティティを制定します。

この地域の《暮らし方》の指針として地域のブランド化への取り組みをはじめ、様々なものに使用していきます。ローカルエリアならではの個性と独自性を尊重し、地域のカラーを対外的に印象付ける事。

また、町民の官様にこの町の未来への共通認識を持っていただく事を目的としています。

LI (LOCAL IDENTITY)
地域での暮らし方の尊重

《LI》ローカル・アイデンティティとは、地域での暮らし方を照らす人間主体の新しいガイドラインです。

MI

MIND IDENTITY

理念(思想)

※町章のメッセージから、山、笑顔、水の3要素をVIのカラーに反映されます。

BI

BEHAVIOR IDENTITY

行動指針(想い)

山の都の想いを5つの指針にしました。

VI

VISUAL IDENTITY

装い(視覚)

シンボルマークロゴタイプVIカラー/選定FONTなど、目に見えるイメージです。

CI:コーポレートアイデンティティが、企業活動の働き方、を指し示すように、《LI》も大きく3つの要素(MI:理念、BI:行動、VI:装い)から形成されます。

VI YAMATO VISUAL IDENTITY

SYMBOL LOGO DESING

山都町の魅力が、山から《町》:蝶が羽ばたくように。というイメージを図案化した、未来への希望と、自然の豊かさを。また、橋(アーチ)で、地域と地域、人と人を結び、手と手をたずさえ、町民が協力し合って、未来へのまちづくりをすすめることを表現しているシンボルマークです。

COLOR DESING MI

	MAIN COLOR / DEEP GREEN 自然を愛し、自然に守られた緑豊かな生活環境
	SUB COLOR (1) / WATER BLUE 美しい水と共に育まれる、安心安全な食文化
	SUB COLOR (2) / GORDEN YELLOW 歴史文化を背景に、笑顔輝く温かな人間性

TYPEFACE DESING

山都町

YAMATO-CHO
KUMAMOTO/JPN

山都町のブランディングに新しいロゴマークとロゴタイプ、ヘッドコピー、カラーを使用します。このデザインは製作関係者に了解なく、無断で変更することは出来ません。

COPY DESING

ヘッドコピー: **阿蘇山麓のまち**

SIGNATURE (EXAMPLE) DESING

阿蘇山麓のまち

山都町

YAMATO-CHO
KUMAMOTO/JPN

阿蘇山麓のまち

山都町

YAMATO-CHO
KUMAMOTO/JPN



② コンセプトブックの構成(デザイン)パターン

- コンセプトブックは、「市民に認識され、共感してもらう」ことが重要であることから、伝えたいターゲット・世代やメッセージによって、より効果的な冊子構成や発信方法を柔軟に検討すべきものである。
- 江田島市における市内外での効果的なデザイン・ブランディング・PR手法等を検討する。

[コンセプトブックの構成事例]

<p>ガイドブック型</p>	<p>YAMATO-CHO LOCAL IDENTITY GUIDE BOOK [弊社アドバイザー(顧問)実績:山都町]</p> 	<p>[特長] 地域のPRやシビックプライドの醸成に向けて、町民や他地域に、地域の魅力や誇り、地域づくりの行動理念などを伝えるガイドブック(説明書)として冊子を作成。</p>
<p>絵本型</p>	<p>大竹市まちづくり基本構想 [弊社実績:大竹市]</p> 	<p>[概要・特長] 大竹市の総合計画について、30年後を見据えたまちづくりの基本理念や将来像を、次の世代・未来まで、引き継ぐことを意識し、絵本のストーリーの中でまちづくりの理念等を伝える、子どもでも親しめることに配慮した絵本形式の基本構想を作成。</p>
<p>タブロイド型</p>	<p>みさと。 [(株)シフトブレイン実績:美郷町]</p>  <p><タブロイド> -----</p>	<p>[概要・特長] 島根県美里町の関係人口増加等、町外へのPRを目的としたブランディングプロジェクト。 ウェブサイト制作をはじめ、地域の魅力を伝えるタブロイドを町内全戸配布、役場職員の名刺リニューアル、写真展の開催、グッズ制作など、地域の魅力を再認識し、町内外に伝えるための様々な展開を推進している。</p>

4 スケジュール

	令和5年度									令和6年度												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
基礎調査・分析業務																						
(1)基礎指標・データ整理・分析																						
(2)第2次総合計画の進捗状況・課題に基づく分析	準備	各課照会	とりまとめ																			
(3)課題の分析																						
市民意向把握・意識醸成等																						
(1)市民意識調査		準備・実施	集計分析																			
(2)事業者・関係者ヒアリング（インタビュー）																						
(3)-①小学生絵画募集		準備、調整、依頼	募集、とりまとめ																			
(3)-②中学生・高校生ワークショップ																						
(4)-③高校生アンケート																						
(4)職員研修・ワーキンググループ		①		②								③		④								
(5)コンセプトブックワークショップ					①	②																
意識啓発ツールの作成																						
トップヒアリング・若者ディスカッション																						
成果検証の検討																						
計画の構成・体系案の検討																						
基本構想（案）作成																						
基本構想の策定																						
コンセプトブックの検討																						
コンセプトブックの作成																						
基本計画・実施計画（素案）検討・作成																						
基本計画・実施計画（案）作成																						
コンセプトブック・計画書印刷																						
パブリックコメント																						
各種会議																						
策定本部会議		①		②		③		④					⑤		⑥		⑦		⑧		⑨	
審議会		①		②		③		④	④構想答申				⑤		⑥		⑦		⑧		⑨最終答申	
議会									④構想議決													
総合計画お披露目会																						